

そらのとり



岩見沢聖十字幼稚園

園だよりNo. 5

2025年8月25日発行

み 8月の聖句

「平和を実現する人々は
幸いである」

新約聖書マタイによる福音書5章9節

8月14日、茶道裏千家15代家元の千玄室さんがお亡くなりになりました。「一盃（わん）からピースフルネス（平和）を」——。言葉や習慣の違いがあっても、一盃の茶を通じて心と心を通わせ理解し合おう、玄室さんは茶の湯の精神をこのことばに込めました。千玄室さんは家が神道・仏教でありながら、父親の勧めもあってキリスト教系の学校である京都の同志社大学で学ばれました。茶道の精神、戦争体験から得た「命の尊厳」への深い洞察と、同志社で育まれたキリスト教的価値観（個人の尊厳、隣人愛、平和）が玄室さんのうちにひとつとなっていたように思われます。「茶室は小さな空間だが、そこには世界がある。畳の上で向き合えば、言葉を越えた理解が生まれる」と千さんは言います。茶室の畳の上では、人に上下や主従はなく、肩に荷物も負わずに、ただ、お互いを気遣い、ゆずりあい、一服のお茶をいただくのです。教会では、神さまの前に一人の人間であることを覚えながら、飾らない自分で立ち、「自分自身を愛するように隣人を愛しなさい」というイエスさまのみ言葉を生きる者としての恵みをいただきます。千玄室さんは洗礼を受けたキリスト者ではありませんが、それでも、私には、「平和を実現する人々は幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる」というみ言葉が響くのです。

チャプレン 司祭 クリストファー 永谷 亮

聖十字幼稚園で先生たちの勉強会

7月28~29日に私たちの教会、聖公会の全道の
言忍定こども園や保育園の職員が集まる研修会が
岩見沢市で行われました。テーマは「こどものいのちと
向きあう仕事を通して」で、一日目の講演は
聖十字幼稚園のこども園長先生の娘さんで、
日本キリスト教海外医療協会で活動する

助産士、雨宮春子さんでした。
言葉も習慣も違う

アフリカで、大人たちが
目の前のこどものために
集まり、一歩一歩

地道な研修を
積み重ね、こどもの命を
守るようになって、
お話から多くのことを
学びました。こどもに関わる大人が
手をつなぎ、学びの輪を確立しました。

2日目は、聖十字幼稚園の見学もあり、
皆さんこの環境にびっくりしていました!! 嬉しいです。

2日目は、聖十字幼稚園の見学もあり、
皆さんこの環境にびっくりしていました!! 嬉しいです。

2日目は、聖十字幼稚園の見学もあり、
皆さんこの環境にびっくりしていました!! 嬉しいです。

もう一つ勉強になったのは、研究会の運営です。
先生たちが分担した2日間全ての司会もすばうかつなし、
懇親会の園紹介では、「年長さんの好きな場所 Best3」を
発表するパフォーマンスをみんなが考えたり、式にみたり...
最後は今年のフェスティバルで歌った「童神」をみんなが歌って
「聖十字のテーマはすごい!!」と皆さん喜んでくれました。
こういう研究会ができたのも、協力してくださった保護者の皆さんや、
預かり保育を守ってくれた支援の先生、バスの先生たちの
おかげです。ありがとうございました。



運動会に向けていよいよスタートです

始業日から、各クラスで運動会の
とりくみが本格的に始まっています。
年少さんは、リズムの音楽は時々かけ
て、22日初めて振り付けを踊りました。
「ぐるぐる回せ」
2月は



全力

猛スピードで!!

手をぐるぐる回すのが

楽しくて、皆、大盛り上がりで、かわいかったですよ!

夏休み明けのみんなは

この糸もカラーで、お見せできないのが残念です。
あちこち違う学年カラーの帽子が、4つとくっついて
仲よく話したり
協力して作業したり、
みんな手に手に
何かを持って
小せしように
元気張っ
ています。



「保護者の声」を読み返してみ

皆さんはもう、聖十字幼稚園のホームページを見る事はあまりなくなりましたが、昨年、新しく
デザインされて、聖十字らしさがより伝わるようになりました。(作ってくれたのは狩野先生の娘さん夫婦で
す。) 最近の行事などの記事もたくさん載っていますので、ぜひ開いてみてくださいね。

この夏には、昨年、保護者アンケートで皆さんに書いて頂いた「聖十字幼稚園を選んだ理由」やお兄ちゃん
お姉ちゃんがいるご家庭からの「卒園後のようす」などが追加されました。あらためて先生方で読み返して
みましたが、もう...これは本当にすごい! 私たちが語るよりももっと園の良さを教えてくれる、そんなメッ
セージばかり。読んでいるうちに涙が出たり勇気が出たりと、大変でした。保護者の皆さんに支えられてここま
で来れた、そんな聖十字幼稚園の先生たちです。2学期も全員で頑張りますので、よろしくお願いします!

年長さんとのでたら・リズムの振り付けを
皆で考えているところでした。曲をかけて
「この歌詞はこんな意味だよ」と

先生が考えると、皆がどんな踊りがいいかと手を
あげて発表しています。実際に体を動かしたりは、
でも発表する人の方を
じっと見て聞いています。
「早く走った
らどう?」
「忍者めたく
早く走った
らどう?」



とにかく飛ぶような意見の量が
ものすごかった!と先生もおどろいて
います。年少さんからの
積み重ね、こんな風に
成長するんですね。

楽しい話し合いが終わり、
最後に、びいっと正座して、ため息も
すてきでした。

2学期に入ると、急におとむたちが
土増えたのは、しろくまちゃんこくまちゃん
ちいこちゃんです。この自由な人たちは
なかなかワイルドですよ。



園庭のあちこちで
たしさんの話し声や笑い声が
ひびいています。